

東京スカイツリー イーストタワー[®]

東京のニューシンボルに併設された 日本と世界を結ぶ新たなビジネス拠点

二〇〇八年七月の着工から約四年の歳月を経て、いよいよ今年五月二十二日に開業する東京都墨田区の複合施設「東京スカイツリータウン[®]」。世界一高いタワーという話題性から早くも新しい観光名所となっている「東京スカイツリー[®]」や、バラエティ豊かな専門店約三百十店舗が入居する巨大ショッピングセンター「東京ソラマチ[®]」などと並んで、同施設にオープンする超高層オフィスビルが「東京スカイツリーイーストタワー」です。

地下三階・地上三十一階建て。フロアは一〜七階が商業施設「東京ソラマチ」、八〜十二階が展示・教育関連ゾーン、十二階がスカイロビー、十三〜二十九階がオフィス、三十〜三十一階が東京ソラマチ高層レストランで構成されています。三十階・三十一階のタワービューディングは、間近にそびえる大迫力のスカイツリーに加えて、晴れた日には東京タワーや富士山を見渡すことも可能。オフィスゾーンへのエントランスと

なるスカイロビーへは、押上駅コンコースに直結しているエレベーターホールからシャトルエレベーターで直接アクセスができ、雨の日でも濡れることなくビル内までたどり着ける快適な動線も確保されています。また、一階には南面道路よりアクセスできるオフィス用の車寄せを設け、VIPなどの送迎にもしっかりと配慮されています。

十七のフロアに広がるオフィスゾーンは総貸室面積が約七千七百坪。基準階フロアは約十二層から約十七層の奥行を持たせた無柱空間で、用途や規模に応じた柔軟なオフィスレイアウトが可能となっており、幅広いビジネススタイルに対応します。一方、外観にはLOWEIEEアガラスを採用することで、日照による熱の取得率が普通ガラスの二分の一以下にな

日精の先進技術が5層構造を実現！ 水平循環方式LEVELパーク

り、冷暖房負荷を低減してレベルの高い省エネを実現しているのも特徴です。東京スカイツリータウン周辺は、隅田川を挟んで浅草にもほど近い、ものづくりの伝統や昔ながらの風情が息づくエリア。そんな粋な下町文化と最先端の東京カルチャーを、さらには日本と世界を結ぶゲートシティとして、東京発の新たなムーブメントを創出する「タワーのある街」がこの春、誕生します。

オフィスの他にレストランや商業施設も入居しているため、連日、多くの訪問者が見込まれる東京スカイツリータウン。そんな同施設からパーキング設備として選ばれたのが、日精の水循環方式「LEVELパーク」です。

図れるLEVELパーク（九十度トレイ旋回タイプ）を二基並べ、それぞれを五層構造にする、日精だけが実現可能な設計を提案。結果、限られた敷地面積を最大限有効に活用し、百十台（四十四台分はハイルフにも対応）の高収納を実現しました。

敷地内に地下鉄都営浅草線と半蔵門線が通っている影響で、パーキングに使えるスペースが通常よりも平面的に非常に狭いことが大きな課題でした。そこで、乗込口の大幅な省スペース化が

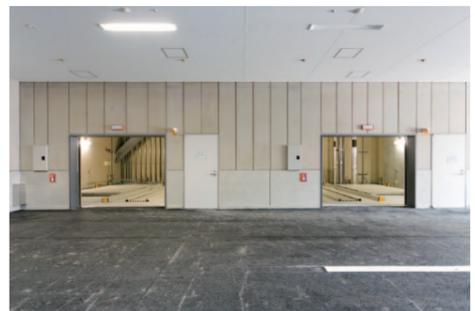
今後、世界のビジネス拠点として大きな注目を集めるであろう東京スカイツリーイーストタワー。その快適なオフィス環境を構築する上で、日精の最先端テクノロジーが生かされています。



日精だけが実現できる水平循環の5層構造の設計



東京スカイツリー イーストタワー外観



併設された2基の乗り込み口スペース

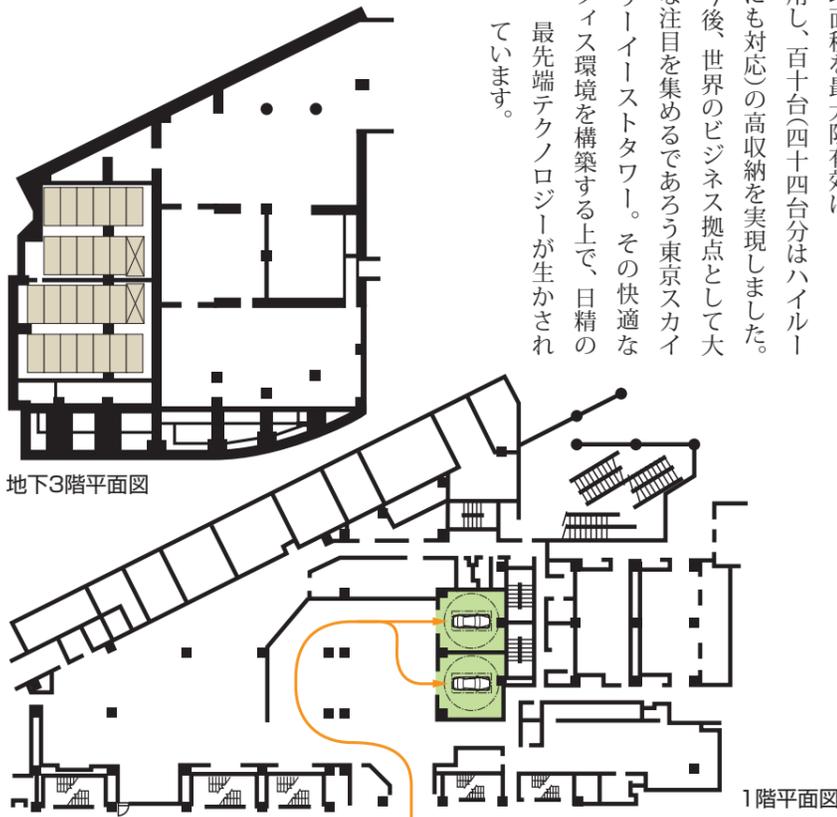
【建築概要・規模】	■建築主/東武鉄道株式会社	■敷地面積/36,844.39㎡
	■建築面積/31,510.92㎡	■延床面積/229,108.88㎡
	■構造規模/地上31階、地下3階	■設計・監理/株式会社日建設計
	■施工/大林・株木・東武建設共同企業体	
【駐車設備概要】	■機種/LEVELパーク《水平循環方式》	
	■型式/1号機:NLPLSR5A-10FDQT、2号機:NLPLSR5A-12FDQT	
	■収容台数/1号機 50台、2号機 60台、合計 110台	



可動デッキが開き、トレーが90度旋回して車を格納



可動デッキが設置されている乗り込み口スペース



地下3階平面図

1階平面図